

## 関係機関・団体の取組状況

機関・団体	取組状況
佐賀県医師会	別添資料①
佐賀県歯科医師会	
佐賀県薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度歯合わせ健診（76才歯科健診）ポスターを薬局内に掲示</li> <li>・「SAGATOCO」アプリ推進ポスターを薬局内に掲示、佐賀県薬剤師会ホームページにリンクを貼っている。</li> <li>・県民が取り組む健康づくり活動を推進している。</li> </ul>
佐賀県看護協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職の資質の向上のため、生活習慣病等に関する予防や対策を学ぶ研修会を開催している。</li> <li>・年10回程度「まちの保健室」を開催し、住民に対する健康相談の場を提供している。</li> </ul>
佐賀県栄養士会	別添資料②
全国健康保険協会佐賀支部	【資料3-3】

機関・団体	取組状況
佐賀県国民健康保険団体連合会	<p>国保保険者の保健事業の支援を行っている。</p> <p>佐賀県の現状は、腹囲の基準値以上の方の割合やHbA1c6.5%以上の糖尿病領域の方の割合が高く、メタボリックシンドロームや糖尿病が課題であると認識している。</p> <p>課題解決に向けて、市町等の保健師・栄養士を対象にした研修会の実施、KDBシステムを活用したデータの提供などの支援、特定健診実施率を向上に資するデータ提供などを行っている。</p>
健康保険組合連合会佐賀連合会	別添資料③ 佐賀銀行健康保険組合の取組状況
佐賀県保険者協議会	<p>1 医療費分析の実施</p> <p>(1) 佐賀県糖尿病・人工透析予防研究事業 糖尿病・人工透析患者数を減少させるため、保険者から実施要領に定めた4項目（HbA1c、血清クレアチニン等）の検査結果データを収集し、保険者にその分析資料を提供している。</p> <p>(2) 統計情報の作成 佐賀県内保険者から提供された情報を用いた、一人当たり医療費等の統計情報や、NDBデータを用いた佐賀県内の統計資料を保険者に情報提供している。</p> <p>(3) 人材育成 医療費分析研修会を開催している。</p> <p>2 データヘルス計画の推進</p> <p>(1) 特定健診・保健指導の実施率向上 ①健診受診促進のポスターを作成し、医療機関・薬局に配布している。 ②県歯科医師会と県薬剤師会に健診実施医療機関名簿を提供し、健診受診勧奨の協力を依頼している。 ③被用者保険の被扶養者の受診機会確保の取組として、被用者保険の被扶養者の方も受診可能な集団健診の情報（市町実施分）を取りまとめ、被用者保険、県歯科医師会及び県薬剤師会へ提供している。 ④市町国保の集団健診日程や実施場所等の情報を取りまとめ、佐賀県国保連合会ホームページに掲載している。</p> <p>(2) 予防・健康づくりの推進 保険者が民間委託している保健事業について、事業内容やその効果を取りまとめ、保険者に情報提供している。</p> <p>(3) データヘルス計画の進捗状況の共有 各保険者が策定しているデータヘルス計画の進捗情報を共有し、事業評価の内容など他団体の取組を参考としてももらっている。</p> <p>(4) 「佐賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の実施 プログラムの目的を達成するための取組を行っている。また、「ストップ糖尿病」対策会議への委員の推薦を行っている。</p>

機関・団体	取組状況
佐賀県商工会議所連合会	
佐賀県商工会連合会	
佐賀県市長会	
佐賀県町村会	
佐賀労働局	<p>労働衛生週間説明会（佐賀局内5か所）の実施に際して、メンタルヘルス対策に係る情報提供を行うほか、各保健福祉事務所様から地域保健に関する情報提供をいただいた。</p> <p>佐賀局内4か所において本年度実施した、職場における健康増進対策に重点を置いた集団指導「転倒予防説明会」では、健康福祉政策課様から地域保健に関する情報提供をいただいた。</p> <p>心の健康づくりフォーラムの開催</p> <p>メンタルヘルス対策を重点に置いた個別指導の実施</p> <p>さが健康維新県民会議への出席</p> <p>協会けんぽ佐賀支部様との連携（「がばい健康宣言」の周知協力等）</p> <p>健康福祉政策課様との連携（「さが健康企業宣言」の周知協力等）</p>
佐賀県P T A連合会	
佐賀県CSO推進機構	別添資料④

<佐賀県医師会 取組状況>

第3次佐賀県健康プラン

委員会	佐賀県糖尿病対策推進会議・佐賀県医師会糖尿病対策委員会 (R07/9/11) 行政による糖尿病対策事業の把握・問題点の整理（糖尿病対策ネットワーク事業・糖尿病食事指導市町村モデル事業・糖尿病シンポジウム）、糖尿病管理システムの構築（保健・医療・福祉）の検討、佐賀県・市町・医師会、及び関係機関等との連携方策、登録医療機関制度の導入、医師会等への糖尿病対策の啓発方策、糖尿病の手引きの作成、一般生民の糖尿病に関する認識向上の方策、治療中止者のフォローアップ方策、基本検診受診勧奨方策、その他糖尿病対策体制の整備に係る必要な事項の協議等を行う	佐賀県医師会による「県内全ての小・中学生に防煙教育を！」事業の積極的な協力 防煙教育を行う会員等を支援するツールとして、喫煙対策委員会において、小学生低学年用、中学生高学年用、中学生用の防煙教育スライドを作成、全ての関係者が活用できるよう佐賀県医師会ホームページに掲載	特定健診・特定保健指導等の実施医療機関を取りまとめ、リストの作成、各保険者や県、審査支払機関へ情報共有の実施、佐賀県医師会ホームページへの掲載	4.疾病（例卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、がん）の医療連携体制について、医療連携推進委員会にて、疾病毎に望まれる医療機能等を検討・整理の上、都市医師会を通じて全医療機関を対象にアンケート調査の実施。結果に基づく医療機能区分の大枠と医療機関名のリストを平成20年4月からの佐賀県保健医療計画の別冊として、県民向けに公表、アシケート結果を毎年度6月を目途に、都市医師会を通して再調査・更新を行っている。年度中途で医療機関より追加・変更等の申し出があれば、隨時更新している。
	第26回佐賀県医師会要懇対策委員会（予定） 県民への啓発活動、特に妊婦への啓発、希望者への支援体制の整備・充実等について検討を行う	第15回佐賀県医師会「県民“はづらつ”公開セミナー」の開催 (R07/10/18) 「肝臓の病気を知ろう」をテーマに肝臓病について県民向け公開セミナーを実施	World Diabetes Day（世界糖尿病デー）inさが啓発イベントの催行 (R07/11/16) (吉津市・うまかもん市場) 血糖測定、医師などによる健康相談、啓発活動（ポケットティッシュなどの配布）	ブルーライトアップ事業 (R07/11/7～R07/11/17) (唐津城、佐賀メディカルセンター、昇開橋、SAGA Aリーナ)

別添資料① 佐賀県医師会

その他	4.疾病に係る県下統一の病状や回復経過にあわせて、各医療機関が連携した医療を提供できるよう、治療経過を共有する連携治療計画表として佐賀県糖尿病連携手帳を運用。 健康情報誌「佐賀県医師会“はづらつ通信”」の発行（年4回予定） (Vol. 82 「前立腺がん～PSA検診～」 R07/2) (Vol. 83 「新年度のストレスとメンタルヘルス」 R07/4)
	(Vol. 84 「臓器移植」 R07/8)
	(Vol. 85 「腰痛」 R07/10)
	テレビ放送（S TS サガテレビ）におけるスポット放送による健康診断受診割愛など年間を通して随時放送

## 別添資料② 佐賀県栄養士会

### 公益社団法人佐賀栄養士会

栄養士の職場は 6 つの職域（公衆衛生、医療、学校健康教育、研究教育、地域活動、福祉）に分類し、県民と関わり、常に県民の健康・疾病について携わっている。栄養士会では、栄養士共通の研修会、職域や地域別の研修会を行い、関わる人々の健康に寄与できるよう自己研鑽をしている。

#### 令和 7 年度の取組状況

- ・ 栄養士会として研修会を 7 回開催（カウンセリング、免疫力、皮膚フレイル他）
- ・ 職域や地域別研修会
- ・ 地域ケア会議、地域個別ケア会議等からの依頼で管理栄養士を派遣し、適切な助言を行う。
- ・ 佐賀県健康福祉政策課の依頼で、低栄養予防事業の会議は 43 回予定で、最終の 3 月には個人向けリーフレット Part 3 完成予定
- ・ 佐賀県長寿社会課の依頼で、地域包括ケア人材育成事業（介護支援専門員、保健師、社会福祉士、管理栄養士等を対象とした、介護予防に係る専門職の人材育成研修会の開催）
- ・ 地域の市民糖尿病教室への協力（佐賀市民糖尿病教室、栄養相談）
- ・ 市町村への離乳食パンフレットの販売

別添資料③ 佐賀銀行健康保険組合

**民間委託している保健事業に関する調査票**

【参考：佐賀銀行健康保険組合が保険者協議会に提出した資料（一部追記）】

保険者名	佐賀銀行健康保険組合
------	------------

**※調査対象期間：令和6年度委託分**

1 民間委託している保健事業はありますか。（いずれかに○を選択してください）

○	ある
	ない

2 ある場合、どのような事業を民間委託されていますか。①～⑩の該当する事業に、その内容等について記載してください。

（複数ある場合は、それぞれ記載してください。該当が無い場合は、空欄で構いません。）

I 取組事業	II 取組内容	III 取組の効果(実績)
(記載例) ①特定健診実施率向上	委託年度：令和6年度 事業名：特定健診受診勧奨通知 送付対象者：40歳以上の被保険者 概要：委託業者によってデータ化された健診結果データを基に、健診結果を①「健診データを見る化チャー」・②「未来予報」・③「健康年齢」という分かりやすい易い図表にして送付した。 事業の目標：「健診実施率の向上」と「自分の健康への関心を持ってもらう」を目標としている。	○特定健診実施率の推移 被保険者の実施率は、令和5年度50.3%から令和6年度50.5%へ上昇。  健診案内時に前年度結果のレーダーチャート図を送付し、自分の健診結果を思い出してもらい、受診行動につながるよう働きかけを行った。 送付後、直ちに申込者数の増加は見られなかったが、最終的な申込者数は前年度より増加した。 結果通知に「未来予報」を入れることにより、放置することへの危機感を実感してもらい、意識変容を促すことにつながった。
①特定健診実施率向上		
②特定保健指導実施率向上		
③糖尿病重症化予防	【委託年度】 ・令和2年～ 【事業名】 ・前期高齢対策(生活習慣病等の重症化予防) 【対象者】 ・50～64歳までのHbA1c=6.5以上空腹時血糖値 =126mg/dl以上、または随時血糖値=200mg/dl以上の該当者 【概要】 ・糖尿病、高血圧症、脂質異常症のうち特定保健指導対象者を除く基準該当者に対し6ヶ月の指導プログラムを実施し改善を図る 【事業の目標】 ・前期高齢者予備軍(50～64歳)の生活習慣病の重症化を防止 ・糖尿病性腎症による人工透析導入への進行や循環器疾患の発症を抑制する	令和6年度：20名(実施数)/30名(選定対象者) 翌年度の健診結果数値と比較し効果検証(在籍者・結果データ保有者のみ) 令和6年度：現在集計中(委託先)  課題としては一定数の参加拒否があり、参加に結びつけ施策(インセンティブ等)が必要
④重複服薬対策	【令和7年度実施中】	
⑤後発医薬品使用促進		
⑥重複頻回受診対策	【令和7年度実施中】	
⑦禁煙対策	【委託年度】 ・令和元年～ 【事業名】 ・禁煙サポート事業 【対象者】 ・被保険者及び被扶養者 【概要】 ・医師開発の専用アプリを活用した専門指導員によるオンライン指導・医薬品により6ヶ月で禁煙を目指す 【事業の目標】 ・禁煙達成者の増加	令和6年度：5名参加/3名成功(成功率60%) ・けんぼうよりでの参加募集に加え、事業主の保健師、特定保健指導実施中の保健師(委託先)を通じ参加勧奨を実施。 ・委託先との連携強化により禁煙成功率は平均60%を上回り好調に推移。 課題：喫煙者への更なる情宣と参加者の確保
⑧医療費分析		
⑨運動習慣推進(健康チャレンジ等)	【委託年度】 ・令和2年～ 【事業名】 ・ウェアラブル端末を用いた運動習慣促進事業 【対象者】 ・被保険者、35歳以上の被扶養者(配偶者年齢不問) 【概要】 ・ウォーキングイベントを開催し運動習慣の醸成を図る 【事業の目標】 ・健康管理の習慣化や運動習慣の醸成・生活習慣病リスクの改善	令和6年度 ・健康管理アプリ(グッピーヘルスケア)登録者数：173名 ・ウォーキングキャンペーン参加者：89名 開催期間：R6.10.1～20 20日間  課題：参加者の増加と運動習慣の継続
⑩その他(歯科健診)	【令和7年度実施予定】	

令和6年度

## みやき町健康づくり支援事業



特定非営利活動法人  
佐賀県CSO推進機構



### はじめに

健康教室が始まって、令和6年11月で丸15年を迎えることができました。

これは、みやき町職員の皆様はじめ、ご参加いただいている町民の方々の  
多大なるご協力によってのことと感謝申し上げます。

今後とも健康教室がより多くの方に、健康や笑顔をお届けできるよう、  
努力していきたいと考えております。

つきましては、健康教室の活動をご紹介させていただきます。



## 《地区健康教室》

- 参加者は、昨年度940名、今年度は12月末現在で847名である。
- 参加延べ人数は、昨年度12,384名、今年度は12月末現在で8,909名と伸長している。
- 教室開催回数は、昨年度1,192回、今年度は12月末現在で873回と伸長している。
- 1教室あたり参加者数は、昨年度10.4人、今年度12月末現在で10.2人となっている。

-2-

## 【教室内容】1教室1時間

### 《前半》

- 認知症予防
- 介護、フレイル予防

脳トレ・コグニサイズ・デュアルタスク・お手玉  
ガンバルーン体操（ボールを使った軽運動）  
有酸素運動・筋トレ・ストレッチ

### 《後半》

- 心身の調子を整える
- レクリエーション

呼吸法・気功・ヨガ・ストレッチ  
ガンバルーンゲーム



## 【参加者の声】

- 白石女性 普段動かしてないところが動けて良かった。  
やはり教室は良いです。
- 南里ヶ里女性 こんなに楽しかったのは久しぶり。たくさん笑った。
- 土井内女性 痛かった腰がシャンと伸びた。
- 東尾女性 パーキンソン病を患っている。こここの運動をすると調子いい。
- 千栗女性 天井掃除でよろけたけど、踏ん張れたのは教室のお陰。
- 東津女性 ストレッチでゆるんだ～。気持ちよかったです。
- 綾部女性 体力が落ちたと感じる。歩きが遅くなつた。やっぱり教室がないとだめ。
- 浜田女性 久しぶりにした呼吸法がとても気持ち良かったです。
- 東寒水男性 入院中グーパーもできなかつた。教室でやってからできるようになった。今は家でもしている。
- 中津隈西女性 体が思うように動かなくなってきたから参加を辞めようと思っていた。一緒にやろうと皆に言ってもらつた。もう少し皆と頑張ります。
- ゲームについて モルックゲーム楽しい。頭を使うところもいい。毎回やりたい。涙出るくらい笑つた。

-4-

## 【特別教室】1教室1時間

### 《男性教室》

○延べ参加者数は、昨年度212名で今年度12月末現在で133名。  
男性のみで月2回開催。

#### 〈前半〉

- 準備体操  
○有酸素運動

ラジオ体操第一第二・わが町みやき・ストレッチ  
ボクササイズ・ステップ運動・エアロビクス・セラバンド  
インターバル速歩・ノルディックウォーキング

#### 〈後半〉

- 体幹トレーニング  
○ストレッチ

プランク・バードドッグ・ヒップリフト等全身  
大腿部・下腿部・臀部を中心に全身



-5-

## 《女性教室》

○女性参加者の強い要望により、今年度から開始。12月末現在で延べ142名参加。  
女性のみで月1回開催。

### 〈前半〉

- 準備体操
- 有酸素運動

### 〈後半〉

- 体幹トレーニング
- ストレッチ

ラジオ体操第一第二・わが町みやき・ストレッチ  
ボクササイズ・ステップ運動・エアロビクス・セラバンド  
インターバル速歩・ノルディックウォーキング

ピラティス、ヨガ等を取り入れ全身  
大腿部・下腿部・臀部を中心に全身



-6-

## 《ステップアップ（体力づくり）教室》

○延べ参加者数は、昨年度692名、今年度12月末現在で590名。  
男女ともに参加可能。各校区会場にて月3回開催。

### 〈前半〉

- 準備体操
- 有酸素運動

### 〈後半〉

- 体幹トレーニング
- ストレッチ

ラジオ体操第一第二・わが町みやき・ストレッチ  
ボクササイズ・ステップ運動・エアロビクス  
ソーラン節・インターバル速歩・和みサイズ

プランク・バードドッグ・ヒップリフト等全身  
大腿部・下腿部・臀部を中心に全身



-7-

## 《その他》

### ○みやき町ガンバルーンゲーム大会

- 平成27年から令和元年までの5年間、年に1回中原体育館で大会を行った。今年度、5年ぶりに開催できた。各地区内の交流および団結心の醸成に加え、他地区との交流にも寄与している。今年度は60チーム、約350名の参加があった。

1チーム 5~6名

ゲーム種目 かご入れ・テーブル載せ・ざる載せ  
的当て・bingo（公式ゲーム5種目）



-8-

### ○地区対抗ゲーム大会

- 56地区教室、教室開催時に1種目の得点と新規参加者への加点で得点を競い、新規参加者の獲得とコミュニケーションの醸成を図っている。  
令和5年度647名の参加があり、新規参加者56名だった。令和6年度も開催予定。

Aパート  
(15名以下)



1位 千栗地区



2位 納江地区



3位 座主野地区



3位 松枝地区



3位 新村地区

Bパート  
(16名以上)



1位 西寒水地区



2位 白石地区



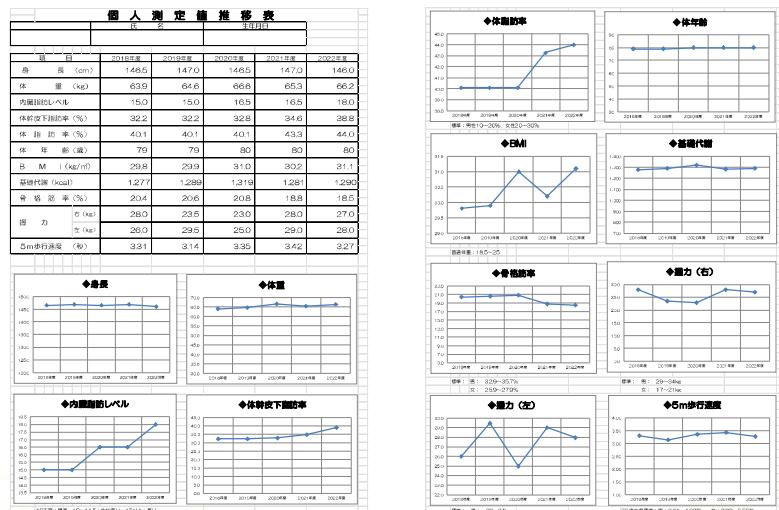
3位 東尾地区

## ○体力測定

- 地区教室で体組成/握力/5m歩行を測定し、アンケートの回答でフレイル判定を行っている。参加者の体力の推移をグラフ化し配布することで教室への長期参加を促し運動継続に繋げている。  
令和6年度の測定者は567名だった。

### ・個人測定値推移表（参加者配布用）

### 参考資料



-10-

## ・体力測定データ分析

フレイル前年度比較

【全体参加者数】			
区分	R5	R6	増減
男性	53	57	4
女性	512	510	-2
合計	565	567	2

【参加者年齢平均】			
区分	R5	R6	増減
男性	75.2	77.7	2.5
女性	77.1	77.9	0.8
合計	77	77.9	0.9

【全体結果】			
判定	基準	結果(人)	割合(%)
		R5 : R6 : 増減	R5 : R6 : 増減
ロバスト	O	315 : 338 : 23	56% : 59.6% : 3.9%
フレアフレイル	1~2	228 : 220 : -8	40% : 38.8% : -1.6%
フレイル	3以上	22 : 9 : -13	4% : 4.0% : -2.3%
	計	565 : 567 : 2	

【男性】			
判定	基準	結果(人)	割合(%)
		R5 : R6 : 増減	R5 : R6 : 増減
ロバスト	O	32 : 33 : 1	60.4% : 57.9% : -2.5%
フレアフレイル	1~2	21 : 23 : 2	39.6% : 40.4% : 0.7%
フレイル	3以上	0 : 1 : 1	0.0% : 1.8% : 1.8%
	計	53 : 57 : 4	

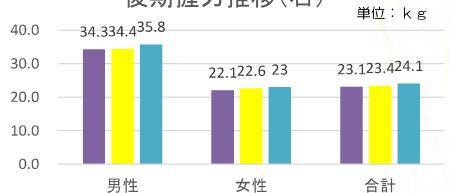
  

【女性】			
判定	基準	結果(人)	割合(%)
		R5 : R6 : 増減	R5 : R6 : 増減
ロバスト	O	283 : 305 : 22	55.3% : 59.8% : 4.5%
フレアフレイル	1~2	207 : 197 : -10	40.4% : 38.6% : -1.8%
フレイル	3以上	22 : 8 : -14	4.3% : 1.6% : -2.7%
	計	512 : 510 : -2	

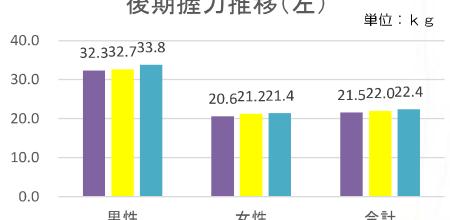
フレイル判定においてはR5年よりフレイル、フレアフレイルともに減少してあり、ロバスト（ノンフレイル）が増加した。コロナ禍で運動習慣が減少した参加者の身体活動量、体力が健康教室参加によって増加したと推測される。

教室参加者の内、75歳以上の骨格筋率・握力・5m歩行をR4年～R6年までの3年間で比較すると、骨格筋率、握力ともに増加し、5m歩行は速くなっている。

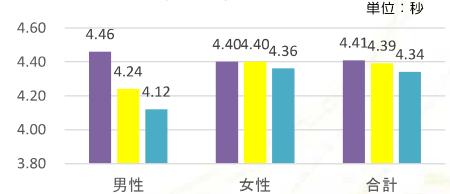
### 後期握力推移(右)



### 後期握力推移(左)



### 5m歩行推移(後期)



## おわりに

平成21年11月から継続できていた地区健康教室が、新型コロナウイルス感染症予防により、令和2年3月から令和4年5月までたびたび休講を余儀なくされました。

再開するたびに参加者の皆様から「待ってたよ」「やっぱり教室がないといかん」との声を多数いただきました。落ち着いてからは、健康教室が地域に根付き、通いの場として機能していることを再認識しているところです。

また、休講によって参加者の体力低下を強く感じていましたが、毎年実施している体力測定で徐々に戻ってきてていることが数字にも表れてきました。今後も町民の皆様の健康維持のため、フレイル（体力的・精神的・社会的）予防と認知症予防等に邁進して参ります。

**1人でも多くの町民へ  
笑顔と健康をお届けしたい  
佐賀県CSO推進機構**